

## マルチプライマーEP 施工仕様書

&lt;2液反応硬化形エポキシ樹脂系&gt;

※防水材、押出成形セメント板や各種窯業サイディング板など様々な下地に対し優れた密着性がある万能下地材です。

## (1).工程表

| 工程   | 製品名  | 塗布量<br>(kg/m <sup>2</sup> ) | 塗布<br>回数 | 塗装間隔時間<br>(23°C) | 希釈率             | 塗装方法                  |
|------|--|-----------------------------|----------|------------------|-----------------|-----------------------|
| 下地調整 | ・高圧洗浄でごみ、汚れ、油分等を入念に除去し、下地の種類によって適切な処理を実施してください。<br>・旧塗膜の浮きや脆弱部分を撤去し、下地は十分に乾燥させてください。 |                             |          |                  |                 |                       |
| 下塗り  | マルチプライマーEP<br>主剤：11.2kg<br>硬化剤：4.8kg   | 0.13~0.16                   | 1        | 16時間以上<br>5日以内   | 専用シンナー<br>0~18% | はけ<br>ウールローラー<br>エアレス |
| 上塗り  | アドクール Aqua<br>3分艶/5分艶  | 0.15                        | 2        | 3時間以上<br>7日以内    | 清水<br>0~5%      | はけ<br>ウールローラー<br>エアレス |

注) 間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、施工条件により多少の幅を生じることがあります。

注) 所定の塗り重ね間隔時間よりも早く塗装すると、ちぢみ、割れ、乾燥不良を起こしますので、乾燥時間を守って下さい。

注) シルバー塗膜上へのレバモル施工の場合は、シルバー面を完全にシールする様に0.3kg/m<sup>2</sup>/2回塗りをして下さい。

注) 旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、溶剤膨れやちぢみなどの異常が発生する事があります。試し塗りを行った後本施工を行って下さい。

注) 上塗材は特殊セラミックを配合している為、必ず使用直前（各工程）に3分以上攪拌機（低速回転）で攪拌の上ご使用下さい。

注) 新規下地の場合はご相談下さい。

## (2).材料荷姿

| 種類   | 材料名                   | 荷姿                                | 標準塗装面積                   |
|------|-----------------------|-----------------------------------|--------------------------|
| 下塗り材 | マルチプライマーEP            | 16kgセット<br>主剤 11.2kg<br>硬化剤 4.8kg | 100~123m <sup>2</sup> /缶 |
| 上塗り材 | アドクール Aqua<br>3分艶/5分艶 | 14kg/缶                            | 90m <sup>2</sup> /缶      |

## 使用上の注意事項

- 1) 有歩行箇所には不適となります。（原則、無歩行屋根をご使用下さい。）
- 2) 下地面は十分に乾燥させて下さい。下地がコンクリート、モルタルの場合は、水分10%以下、pH10以下で施工して下さい。
- 3) シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染、密着不良、又は塗膜に割れが発生することがあります。
- 4) 磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスキングを行って下さい。酸が表面に付着すると変色や溶解の原因となります。
- 5) 被塗物の形状、膜厚、色目、塗回数、希釈率により、つやが異なって見える場合があります。
- 6) 刷毛、ローラー塗装時の塗継ぎ箇所で艶むらを生じやすい傾向にあります。試し塗りの上、本施工して下さい。
- 7) 低温時（5°C以下）、多湿時（85%以上）、結露の発生が見込まれる場合は、塗膜の乾燥過程で欠陥を生じる事がありますので施工を避けて下さい。
- 8) 降雨、結露、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を避けて下さい。（塗膜の膨れ、剥離、白化等の不具合を生じる場合があります。）
- 9) 標準施工仕様に準じて所要量及び間隔時間を厳守の上ご使用下さい。希釈の必要な製品は指定の希釈材を用い適切な量、適切な方法で均一に薄めて下さい。
- 10) 希釈した製品は、長期間保管後使用しないで下さい。
- 11) 材料は直射日光下、高温、高湿を避け、冷暗所に保管して下さい。又、0°C以下の保管は避けて下さい。
- 12) 作業を行う場合には、換気を十分に行い、適切な保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用下さい。
- 13) 溶剤系製品ですので、取扱いの際は特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法などを厳守して下さい。
- 14) 塗装器具は速やかにラッカーシンナー等で洗浄して下さい。
- 15) その他塗料の取扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS（安全データシート）を参照下さい。